岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　西父木野支川3通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.R4-04	**調査位置**	広島県神石郡神石高原町父木野	**北　緯**	34° 39′ 56.211″
発注機関	広島県東部建設事務所	**調査期間**	2022年 12月 12日 ～ 2022年 12月 14日	**東　経**	133° 13′ 48.040″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**	
コア鑑定者		**ボーリング責任者**			
孔口標高	T.P. 500.31m	**角度**	180° 上 下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	水平0° 鉛直 90°　36°	**使用機種**	**試錐機** 東邦DO-C		
総削孔長	9.00m	**エンジン**	ヤンマーNFAD8	**ポンプ**	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分
	499.61	0.70	○○	粘土混じり砂礫	茶褐						
1	499.31	1.00	∴	細粒砂岩	暗青灰～淡褐灰	w2	h1	C	III	b	CM
	498.86	1.45				w3	h2	D	V	c	DH
2	498.31	2.00				w2	h1	C	III	b	CM
	498.11	2.20				w3	h2	D	IV	c	DH
	497.81	2.50				w2	h1	B	III	b	CM
3	497.26	3.05						C	IV		CL
	496.46	3.85	∴	細粒砂岩	暗青灰～淡褐灰	w2	h1	B	III	b	CM
4	496.31	4.00				w3	h2	C	IV	c	CL
	496.06	4.25	+ + +	花崗岩	淡褐灰	w3	h2	D	II	c	CL
	495.71	4.60	∴	細粒砂岩	淡青灰	w2	h1	C	IV	b	CL
5	495.11	5.20				w1		A	II	a	CH
	494.91	5.40				w2		C	IV	b	CL
6 7 8	492.16	8.15			淡青灰 暗青灰			B	IV	b	CM
	492.01	8.30	+ + +	花崗岩	淡灰	w1	h1	B	III	b	CM
	491.61	8.70						A	II		CH
	491.51	8.80	∴	細粒砂岩	暗青灰	w1	h1	A	II	b	CH
9	491.31	9.00						B	III		CM

コア採取率 —×— (%)　最大コア長 —○— cm　RQD —— [%]

深度 (m)	最大コア長	RQD	コア採取率
0～1	15	[15]	(100)
1～2	30	[30]	(100)
2～3	10	[10]	(100)
3～4	15	[42]	(100)
4～5	42	[67]	(100)
5～6	7	[0]	(100)
6～7	7	[0]	(100)
7～8	15	[43]	(100)
8～9	30	[50]	(100)

深度 (m)	地質時代名	記事
0.00～0.70	更新世	崖錐堆積物と推定。φ2～50mm程度の角～亜角礫と粘土質細砂を主体とする。最大でL=10cmの巨礫片を含む。全体的に緩い。
0.70～3.05	古生代	岩片状～角礫状コアと短柱状コアの部分が混在する。岩片状～角礫状コアの部分は風化変質によりやや軟質化している。短柱状コアの部分は比較的硬質だが、ハンマー軽打で亀裂沿いに割れる。 GL-1.5m付近に花崗岩が貫入している。概ね軟岩I相当。 GL-1.7m以深は基本的に全漏水する。
3.05～4.00	古生代	短柱状コアを主体とし、一部岩片状コアとなる。コア肌は概ねなめらか。ハンマー軽打で亀裂沿いに割れる。概ね軟岩II相当。
4.00～4.25	白亜紀	柱状コアとして採取。風化変質によりやや軟質化している。ハンマー軽打で砕ける。コア肌は粗い。軟岩II相当。
4.25～8.15	古生代	短柱状～岩片状コアを主体とする。10°～20°の層理に沿って割れやすい。亀裂沿いに細粒分を挟在する部分あり。GL-4.60m～5.00m間は柱状コアとして採取され比較的新鮮。GL-7.2m付近より漸移的に泥質岩となる。軟岩II相当。
8.15～8.70	白亜紀	柱状～岩片状コアを主体とする。コア肌はなめらか。軟岩II相当。
8.70～9.00	古生代	短柱状～柱状コアを主体とする。亀裂は概ね密着している。コア肌はなめらか。軟岩II相当。

孔内水位／測定月日

標準貫入　試験　深度－N値 図　N値 —○—　0　10　20　30　40　50

深度 (m)	N値	備考
1.15 1.41	50 260	(15,17,18/60)
2.15 2.29	50 140	(31,19/40)
3.00 3.05	50 50	(50/50)
4.00 4.00	50 0	(貫入不能)
5.00 5.00	50 0	(貫入不能)
6.00 6.00	50 0	(貫入不能)
7.00 7.00	50 0	(貫入不能)
8.00 8.00	50 0	(貫入不能)
9.00 9.00	50 0	(貫入不能)

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度（cm/h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L/min）	排水量（L/min）
12/12	100	B2	WCT/D/B	10.0	150	0.1	4	3
	50			15.0	180	0.2	4	2
12/13	60			20.0	200	0.2	4	0
12/14								